

2025 年度春学期入学前準備科目「学びを学ぶ」 最終課題について

①「学習目標」課題

在学中に挑戦したい目標を考え、目標に向けた学びをデザインしてみましょう。

- 先輩学生の話や、学びに関する説明を踏まえて、また将来の自分をイメージした上で、目標をひとつ考えてみてください。入学後に変わっても構いません。
- また、その目標を達成するためには、どのような学びが必要か、あるいは、どんなトピックや言語を学びたいか、どんなプログラムに参加したいかなど、考えてみてください。

P.2-4 の案内に基づき、学習目標と 3 つ以上の「ステップ」を提出してください。

②エッセイ課題

トピック：「他者のために、他者とともに」というフレーズが上智の教育精神をあらわしているとして、どのように思いましたか？

文量：400 字程度 ※1000 字以内

提出期間（①、②ともに）

提出期間 2025 年 4 月 1 日(火)～4 月 6 日(日)

(日本時間 4 月 6 日 23 時 59 分締切 ← **厳守!**)

注意

これらの最終課題は、「学びを学ぶ」の内容を踏まえて、上智大学やその先の自身の学びや、他者との自身の関わりについて考えるものです。正解・不正解を問うものではありませんので、生成 AI は用いず、自身で考えて記述してください。

特にエッセイ課題は、必修科目「キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」」の初回授業でのディスカッションに用います。

提出方法

1. Microsoft Word 等の文書作成アプリケーションを使って、学習目標とレポート課題を作成する。
注：課題提出後も、レポート課題のデータを保管しておいてください。必修科目「キリスト教人間学(他者のために、他者とともに)」で使用します。
2. セルフ学修ポートフォリオにログインしてください。ログイン情報は入学式にて学生証と一緒に配布されます。

学習目標課題

3. 「目標」を選択してください。



4. “4年間の学修目標 / “Learning Goal” for the 4 Years”をクリックし、新規目標追加を選択。



5. 4年間の学習目標を入力する。目安は400文字、最大1,000文字です。入力後、「ステップの追加」を選択し、目標の達成のために必要なステップを入力してください。



6. ステップには開始日が必要ですが、現段階では厳密でなくても構いません。例えば、「二年次に文化人類学を履修する」といった目標を立てる場合、「2026年4月1日」と入力してください。この課題の目的は、上智における皆さん自身の学びや様々な機会について、考え始めることです。大学生活を過ごすうちに、目標やステップについて再考し、変更することは全く問題ありませんし、大学としてむしろ推奨しています。

ステップに終了日を設けることも可能です。「間隔」は繰り返しおこなうステップの場合に入力し、そうでなければ「1日ごと」のままにしてください。

「質問の追加」はステップに関連したリマインダを設定する機能です。ステップの管理などの際に有効です。

7. 目標と3つ以上のステップを入力し終わったら、この課題は完了です。
 なお、上智大学での授業開始後も、編集することができます。4年間を通して、自分の学びを振り返りながら、目標とステップを確認・更新していきましょう。

エッセイ課題

8. トップページに戻り、「アンケート」を選択してください。「学びを学ぶエッセイ課題」が表示されていますので、クリックしてください。

9. エッセイ課題の詳細と入力欄が表示されます。Word 文書等にしたエッセイ文章をコピーして、枠内にペーストしてください。

アンケート 1

アンケート名: 学びを学ぶエッセイ課題
期間: 2023/04/05 23:59
説明: 「学びを学ぶ」ウェブページに掲載されている案内に従い、「他者のために、他者とともに」に関するエッセイ課題を提出してください。提出後に修正する場合は、3回まで再提出が可能です。

* は回答必須項目です。 1問目/1問中
当該質問の回答後、[次へ]を押下すると保存されます。

質問1 * 「他者のために、他者とともに」というフレーズが上智の教育精神をあらわしていると感じ、どのように思いましたか? (400字程度)

一時保存 次へ

10. エッセイの入力が終わったら、「次へ」と進み、内容を確認して回答を送信してください。
送信が完了したら、エッセイ課題も完了です。お疲れ様でした！

追記:

日本語と英語のアンケートが表示されている場合は、国際教養学部、SPSF、理工学部英語コース以外の学生は、日本語のアンケートから提出してください。既に英語の方に提出した場合は、再提出する必要はありません。